

# 地域の特徴に合わせた持続可能な農業の推進

活動対象: 旭川市旭正共栄地区21戸

H28～R2年度に特徴のある売れる米づくりおよび、地域の特徴に合わせた技術の導入推進、地域の特徴に合わせた技術の改善に取り組んだ。結果として、①特別栽培米「ゆめぴりか」、業務用米の安定生産、②JGAPを活用した農場管理、③省力化技術導入による労働力の軽減、④果菜類の栽培管理改善による安定生産が図られた。

## 1 課題の背景

- ・ 水稲は、付加価値の向上を目指し、JGAPの認証と「ゆめぴりか」の特別栽培を推進している。低タンパク米の安定生産が課題となっている。
- ・ 低タンパク米生産が難しいほ場には業務用米「きらら397」、「そらゆき」への作付誘導が課題であった。
- ・ 人口減少による規模拡大に伴う作業効率化が必要となり、省力化技術の導入が求められている。
- ・ 施設園芸は、生産量・販売額が減少傾向にあり、産地維持・生産性向上のための技術導入が課題となっている。

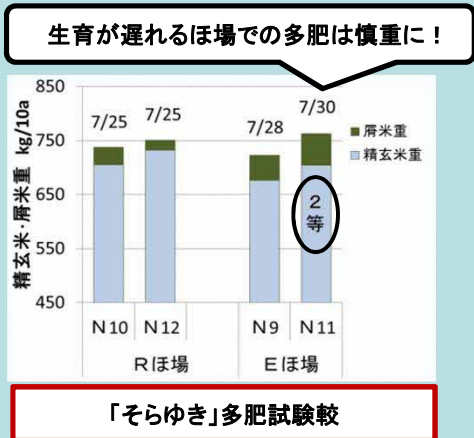
## 2 活動内容と成果

### (1) 特徴のある売れる米づくり

#### ○業務用米の生産拡大と安定生産(H28～H29年度)

- ・ 多収性品種「そらゆき」の多肥試験を実践し、多肥栽培で増収し収益性が確保できることを実証
- ・ 試験結果を農業者に栽培講習会で示し、タンパク値が高くなりやすい水田へ業務用米の作付を誘導

ほ場にあった品種を栽培しよう！



#### ○特別栽培米「ゆめぴりか」タンパク値7.4%以下の安定生産(R1～R2年度)

- ・ 現地研修会・個別巡回で個々の栽培改善項目を提案、改善の実践を支援



#### 栽培講習会



#### 低タンパク米安定生産技術実施状況

栽培改善項目	農家・年度		B		C		D		E		G		K		P		T	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
育苗期間35日以下	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
5/25以前の移植	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
株間14cm以下	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	
側条施肥の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ケイ酸資材の散布	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
土壌診断の実施	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	
初期莖数300本/㎡以上	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	
○合計	7	7	4	4	4	4	7	7	7	7	5	5	7	6	3	5		
目標達成(合計5以上)	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○		○		

試験や調査結果を示し農業者の安定栽培に対する意識の向上に繋がった

### ○JGAP取得に向けた支援(H29～H30年度)

- ・特別栽培米ではJGAP認証取得を推進
- ・普及センターはJAあさひかわと連携し、JGAP管理点の理解を深める研修会を開催
- ・農場改善・自己点検の実施を支援
- ・JGAP導入が農場にもたらす変化や効果についてアンケートの実施、懇談会で意見交換

「危険か所、収納場所など目的別に掲示物を設置したら従業員も作業が一目でわかって良いね！」



農場視察研修

「不要品処分、最初は家族と意見が食い違って苦労したけど、スッキリして働く環境が良くなったよ。」

「従業員が多いと、全員でGAPができるようになるには時間がかかるよね。」

## (2)地域の特徴に合わせた技術の導入推進

### ○経営の効率化に向けた技術の導入 (H28～H29年度)

- ・JAあさひかわ、旭川市と連携し、スマート農業技術を提案・検討する研修会を開催
- ・GPS機器は3戸、ハウス自動換気装置は4戸35棟で導入

ハウス自動換気装置

温度管理作業の省力化・適正化  
昼休みもしっかりとれる



GPSによる自動操舵



代かきや防除の効率化につながった

## (3)地域の特徴に合わせた技術の改善

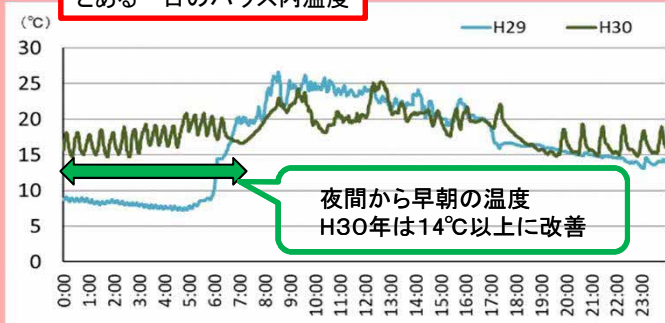
### ○施設園芸の栽培管理の改善(H30～R2年度)

- ・P農家のトマトハウスに、環境測定機器を利用した温度管理+CO<sub>2</sub>施用を提案・実践支援
- ・CO<sub>2</sub>施用は濃度コントローラーで不足もなく安心
- ・実践後は着果が改善され、出荷量が地域平均を上回るように
- ・収量・品質向上の制限要因の一つ、土壌病害対策に集中できる
- ・改善後・P農家の取り組みを受けて新たに2戸(トマト、ピーマン)で栽培環境改善の取り組みがスタート

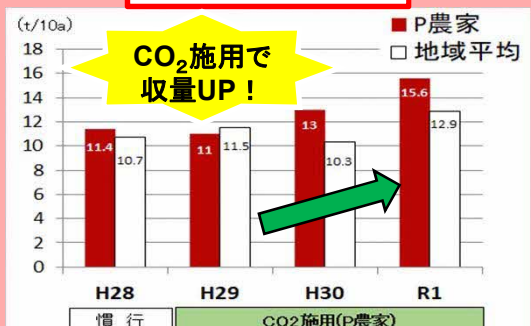
生育状況の確認



とある一日のハウス内温度



トマト出荷量の推移



## 4 今後の対応

### (1) 特徴のある売れる米づくり

特別栽培米「ゆめぴりか」たんぱく7.4%以下の安定生産について、栽培改善への支援を継続する。

### (2) 地域の特徴に合わせた栽培技術の改善

環境制御技術の効果的な活用および土壌病害対策について、引き続き支援する。